

宮城県感染症発生動向調査情報

— 2018.8.20～2018.8.26 — 第34週 —

平成30年8月30日発行

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							患者数	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第31週	第32週	第33週	第34週
水痘		4 0.40	4 0.80		2 0.67	2 0.40		10 0.37	22 0.37	809				
流行性耳下腺炎	1 0.20	1 0.10	1 0.20		2 0.67			2 0.07	7 0.12	151				
感染性胃腸炎	28 5.60	17 1.70	14 2.80	7 3.50	7 2.33	9 1.80		91 3.37	173 2.93	9,482	◎	◎	◎	◎
手足口病	10 2.00	12 1.20	9 1.80	6 3.00	4 1.33	1 0.20	2 1.00	37 1.37	81 1.37	1,166	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑	1 0.20	2 0.20	1 0.20			1 0.20	4 2.00	35 1.30	44 0.75	463	○	○	レ	○
突発性発しん	5 1.00	2 0.20	3 0.60		2 0.67	2 0.40		22 0.81	36 0.61	1009	○	レ	レ	○
ヘルパンギーナ	25 5.00	60 6.00	32 6.40	10 5.00	8 2.67	9 1.80	3 1.50	91 3.37	238 4.03	2,029	◎	◎	◎	◎
インフルエンザ									0 0.00	34,010				
咽頭結膜熱		1 0.10		1 0.50		3 0.60		13 0.48	18 0.31	798		○	レ	
流行性角結膜炎								1 0.17	1 0.08	115				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15 3.00	3 0.30	3 0.60	1 0.50	1 0.33	10 2.00		19 0.70	52 0.88	5,752	◎	◎	○	○
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	4				
無菌性髄膜炎									0 0.00	1				
マイコプラズマ肺炎			1 1.00	3 3.00			1 1.00		5 0.42	111				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	1				
RSウイルス感染症	9 1.80	11 1.10	3 0.60	1 0.50	5 1.67	1 0.20	2 1.00	36 1.33	68 1.15	1,464	◎	◎	◎	◎
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	30				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		1						2					
	川崎病								1					
	不明発しん症	1	3						6					

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告)はありません。

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

塩釜管内 男性1名
仙台管内 女性3名
結核(無症状病原体保有者)
石巻管内 女性1名
仙台管内 男性1名、女性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)

石巻管内 男性1名
塩釜管内 男性2名
大崎管内 女性1名
登米管内 女性1名
仙台管内 男性1名(第33週)
腸管出血性大腸菌感染症(O26)
塩釜管内 女性1名(第33週)
腸管出血性大腸菌感染症(O103)
大崎管内 女性1名
仙台管内 女性1名
腸管出血性大腸菌感染症(O111)
大崎管内 男児1名*

4類感染症: レジオネラ症

仙台管内 男性1名

5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌感染症(*E.aerogenes*)

仙台管内 男性1名
侵襲性肺炎球菌感染症
仙台管内 男性1名
梅毒
仙南管内 男性1名(第33週)
仙台管内 男性1名(第33週)、女性1名

※男児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[手足口病]

栗原管内で警報レベルを継続中です。

[ヘルパンギーナ]

塩釜管内で警報レベルを継続中です。
栗原管内で警報レベルを継続中です。
登米管内で警報レベルを継続中です。
仙台管内で警報レベルを継続中です。
大崎管内で警報レベルを超えました。

[伝染性紅斑]

気仙沼管内で4人の患者報告がありました。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

腸管出血性大腸菌感染症患者より

大崎管内のO103関連 第34週採取分 O28ac 1件
大崎管内のO111関連 第34週採取分 O111 2件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定	中 間 報 告	
	第31週採取分 (7.30～8.5)	第32週採取分 (8.6～8.12)	第33週採取分 (8.13～8.19)
RSウイルス	2件	6件	2件
ヒメタヌーモウイルス	1件	2件	1件
エンテロウイルス	0件	1件	0件
サイトメガロウイルス	2件	1件	0件
パラインフルエンザウイルス1型	1件	1件	0件
パラインフルエンザウイルス3型	1件	1件	0件

4. 今週のコメント

【腸管出血性大腸菌感染症】

ペロ毒素を産生する大腸菌による感染症で、O157、O26などが代表的です。主な症状は腹痛、下痢ですが、重症化すると溶血性尿毒症症候群(HUS)を引き起こし死亡する例もあります。県内では今週10例の患者報告があり、引き続き患者が多い状況にあります。加熱不足の食肉の他、洗浄が不十分な野菜等の摂取を原因とすることもあります。食品の取り扱いに注意するとともに、手洗い励行などの予防対策に努めてください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansan-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

